

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計			事務事業分類		A 一般事務事業		
事務事業名			フッ素塗布事業		事業番号		
担当部署名			子ども青少年		014-013		
局		子ども青少年育成		部		子ども育成	
課							

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~		施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実	
			有	取組の方向性	①妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.2	
			有	取組	妊娠期からの保健指導と乳幼児健診の実施				
寄与するKPI		有・無	指標名	—					
		無	現状値	—		目標値	—		

2	関連計画	堺市歯科口腔保健推進計画							
3	事業開始年度	平成 15 年度			点検年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	母子保健法、健康増進法 歯科口腔保健の推進に関する法律 堺市歯科口腔保健推進条例							

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、保健センター							
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	1歳6か月児から4歳未満の子ども					対象数	単位	
							9,700	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	乳幼児期のむし歯の罹患率の減少と将来的な口腔管理への意識づけを行い、全身の健康増進へとつなげる。							
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	1歳6か月児健康診査および子どもの歯相談室で、希望者に対して、歯科衛生士がフッ素塗布を行う（対象年齢内1回のみ）。 また、むし歯のハイリスクフォローとして1歳6か月児健康診査時に実施するむし歯菌の活動性検査の結果、むし歯菌の活動性が高いと判断された子どもについては、2歳児の歯科相談時にフッ素塗布を行う。							
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など								
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載								
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)								
10	公民連携・協働事業								

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
11 3歳児でう蝕のない子どもの割合	%	目標値	90	90	90		
		実績値	86	88			
		達成率	95%	97%			
当該指標を選定した理由		堺市歯科口腔保健推進計画の目標値（3歳児でう蝕のない子どもの割合）					
目標値の設定根拠・算出方法		堺市歯科保健事業年報 目標値：堺市歯科口腔保健推進計画(3歳児)					
12 フッ素塗布経験者の割合	%		実績		目標		
			令和2年度	令和3年度	令和4年度		
		目標値	95	95	95		
		実績値	95	95			
	達成率	100%	100%				
当該指標を選定した理由		堺市歯科口腔保健推進計画の目標値（フッ素塗布を受けたことのある子どもの割合）					
目標値の設定根拠・算出方法		堺市歯科保健事業年報 目標値：堺市歯科口腔保健推進計画（3歳児）					

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	フッ素塗布事業	事業番号	014-013
-------	---------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	949	837	897	880	948
13 財源内訳	国支出金				0
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ()				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	949	837	897	880	948
14 人件費 (b)	810	820	820	410	410
15 年間経費(c)=(a)+(b)	1,759	1,657	1,717	1,290	1,358

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
16 事業費内訳	需用費 (薬剤等)	R3	880	880	R3	決算	
		R4	948	948	R4	予算	
		R3			R3	決算	
		R4			R4	予算	
		R3			R3	決算	
		R4			R4	予算	
		R3			R3	決算	
		R4			R4	予算	
	R3			R3	決算		
	R4			R4	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① フッ素塗布者数	人	7,640	7,250
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,657	1,290
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	217	178
備考 (算出についての説明等)	1歳6か月児健康診査・2歳児歯科フォロー・子どもの歯相談室でのフッ素塗布者数		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 フッ素塗布を経験している者の割合は概ね目標値を達成しており、乳幼児健診等と同日程でフッ素塗布を行うことで、所要経費を低廉とし、効率的に事業実施できている。3歳児でう蝕のない者の割合は令和3年度は令和2年度と比較すると向上しているものの、コロナ禍での生活習慣や生活リズムの変化などから、当面、う蝕罹患率の変化は慎重に見ていく必要がある。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 フッ素塗布事業は乳幼児期のう蝕予防対策として適切な時期に歯科検診、保健指導、フッ素塗布を実施することでう蝕罹患の軽減を図っている。また、継続塗布の啓発を行い、かかりつけ歯科医での定期検診を促すことから、う蝕の予防のみならず口腔機能の育成を通じ全身への健康へとつなげることができている。